

テーマ「少量L-ドパ療法を再考する」

昨今、発達障害児の治療薬は多様化する一方、アミン系神経系の役割などその病態の解明はあまり進んでいない。本研究会は、発達障害の病態に関連するアミン系神経の発達について研究する目的で設立された。第1回目のテーマである「少量L-ドパ療法」は発達性ドパミン受容体過感受性を改善させると考えられており、副作用も少なく安全性が高い一方で、その有効性や使用方法などの検討が少ない。今回は少量L-ドパ療法の提唱者である瀬川昌也先生に基調講演をいただき、様々な疑問を検討する。

総合司会 国立成育医療センター 小児神経科 久保田昌也先生  
瀬川小児神経学クリニック 木村 一恵先生

13時 開会の辞（東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト・リーダー林雅晴先生）

13時 基調講演 瀬川小児神経学クリニック 院長 瀬川昌也先生  
「少量L-ドパ療法の歴史」

14時 川口市立医療センター小児科 診療局長 下平雅之先生  
「川口市立医療センターにおける少量L-ドパ療法の実際」

14時45分 休憩

15時 国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経科 中川栄二先生  
「自閉性スペクトラム障害の薬物療法の治験進行状況について」

15時30分 南和歌山医療センター小児科医長 星野 恭子  
「少量L-ドパ療がどのような症例・症状に有効か ～症例検討～」

16時 総合討論（シンポジウム形式）

司会 横浜療育医療センター 根津 敦夫先生

東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト・リーダー 林雅晴先生

16時45分 閉会

日時：平成26年3月1日 午後1時より

場所：国立成育医療研究センター 1階12号会議室

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1 電話：03-3416-0181

少量L-ドパ研究会 (<http://www.ldopa-therapy.com>)

安原 昭博(安原こどもクリニック) 石崎 朝世(公益社団法人発達協会王子クリニック)

木村一恵(瀬川小児神経学クリニック) 久保田 雅也(成育医療センター)

根津 敦夫(横浜療育医療センター)

林雅晴(財団法人 東京都医学総合研究所 こどもの脳プロジェクト・リーダー)

星野恭子(南和歌山医療センター小児科)